

申し込み要項

受付開始 **7月1日** 月 → 締め切り **9月6日** 金

※一般参加の方と自治労連組合員の方は申込方法が異なりますのでご注意ください

1 一般参加者の方
【住民の方など自治労連組合員以外の方】
 下記の申込書に必要事項を記入のうえ、メールまたはFAXにて事務局（自治労連）までお申し込みください。

2 自治労連組合員の方
 所属する労働組合、または、自治労連の都道府県組織（県本部）、県事務所にお申し込みください。

住民の方など（自治体職員・議員・自治労連組合員を除く）

参加費

2日間参加 **2,000円** 1日のみ参加 **1,000円**

自治体職員、議員、自治労連組合員

2日間参加 **6,000円** 1日のみ参加 **3,000円**

※：分科会運営委員、要請レポート報告者、障害者の介助者、集会要員は参加費不要です。
 ※：現地分科会は参加費のほか別途参加実費（昼食・バス代）が必要です。

10月5日（1日目）、6日（2日目）の両日、参加者が就学前の子どもを預けることができる保育室を設けます。保育室を利用する場合は、1日利用・2日間利用に関わらず保育利用料（保険料等）**1,000円/人**が必要となります。ご希望の方は、事務局（自治労連）までお申し込みください。

※：おやつおよび6日（2日目）のお弁当は各自持参してください。

- 注意事項**
- 宿泊の斡旋はしていません。各自で手配をお願いします。宿泊施設側が人手不足などを理由に稼働率を抑える傾向が広がっており、全国的に宿泊ホテルの予約が取りにくく、また宿泊料が高い状況があります。宿泊先の早期確保をお勧めします。
 - 全体会（1日目）、分科会・講座（2日目）とも、会場での参加となります。※集会当日、オンラインでのライブ配信の予定はありません。
 - 10月5日の全体会および6日の第6分科会「公的責任で権利としての社会保障を（高齢者と障害者）」に限り、報告・発言について手話通訳の対応を行います。**あわせて第6分科会に限りオンラインでのライブ配信を行います。**
 - 10月6日（2日目）の弁当（1,000円・お茶付き）を販売します。必要な方は下記申込書でお申し込みください。弁当のお申し込みキャンセルは9月30日正午までです。それ以降はキャンセルできません。
 - 一般参加者の方（住民の方など自治労連組合員以外の方）の参加費および弁当は、当日会場受付にて現金でお支払いください。
 - 自然災害の発生や、感染症等の拡大に伴う対応については、自治労連のホームページ上にてお知らせいたします。

自治労連本部 憲法政策局

〒112-0012 東京都文京区大塚4-10-7
 TEL 03-5978-3580 FAX 03-5978-3588
 E-mail info@jichiroren.jp

お問合せ 対応時間
 平日9時30分～17時30分

一般参加者の方は、**FAX 03-5978-3588** 自治労連本部 憲法政策局へFAXをお送りください

第17回地方自治研究全国集会申込書

フリガナ	都道府県		所属団体・職場・職業等	
名前				
参加形態 (何れかに✓印を)	<input type="checkbox"/> 1 一般参加 <input type="checkbox"/> 2 分科会運営委員 <input type="checkbox"/> 3 要請レポート報告者 <input type="checkbox"/> 4 集会要員 <input type="checkbox"/> 5 障害介助者 <small>(レポートを自主的に持ち込む場合は、1にチェック✓をしてください) ※2～5の方は参加費不要です。</small>			
連絡先	住所 (自宅・職場)	〒()	都道府県	市区町村
	電話番号	-	-	(自宅・職場・携帯)
	Eメールアドレス	@		
参加する日および分科会等 (参加する日に✓印を)	<input type="checkbox"/> 10月5日(土) 全体会 ・ <input type="checkbox"/> 10月6日(日) 分科会 ・ <input type="checkbox"/> 両日		参加分科会番号	レポート持ち込み (集会冊子に掲載されない自主的なレポートの持ち込み) <input type="checkbox"/> 有
弁当 (10月6日) (どちらかに✓印を)	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要 <small>※弁当の提供にあたりアレルギー対応はできません。※現地分科会参加者は不要です。</small>		保育室の利用	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要 保育室利用日 (該当する日に✓印を) <input type="checkbox"/> 10月5日(土) 全体会 <input type="checkbox"/> 10月6日(日) 分科会 <input type="checkbox"/> 両日 (子どもの年齢 歳)
参加費 (何れかに✓印を)	<input type="checkbox"/> 2日間 2,000円 <input type="checkbox"/> 1日 1,000円 <input type="checkbox"/> 不要※ <small>※自治体職員、議員、自治労連組合員は右欄にて✓印をお願いします。※参加形態2～5の方は参加費不要です。</small>		自治体職員、議員、自治労連組合員	<input type="checkbox"/> 2日間 6,000円 <input type="checkbox"/> 1日 3,000円 <input type="checkbox"/> 不要※ <small>※自治労連組合員の方は、所属する労働組合、または、自治労連の地方組織（県本部）、県事務所へご連絡ください。※参加形態2～5の方は参加費不要です。</small>

※現地分科会は、定員制（先着順）です。
 ※保育（就学前・小学校入学前）は、自治労連までお電話（企画財政局03-5978-3580）でお申し込みください。
 個人情報保護法に基づき、この申込内容を目的外に使用することは一切ありません。



(左)高校生フェスティバル群舞、(右上)教育機関で唯一原爆の火を灯す桜丘高校(豊橋市)、(右下)原爆被災地の火「平和の灯」(名古屋港)

第17回 地方自治研究全国集会 愛知

1日目 10月5日(土) 全体会 12:00 開場 12:45 開会～17:00

会場 名古屋国際会議場 白鳥ホール

記念講演 **わたしたちのいのちとくらしと日本国憲法** ～平和・人権・地方自治

講師 伊藤 真氏 (弁護士・伊藤塾塾長)



プロフィール
 「憲法を知ってしまったものの責任」から、日本国憲法の理念を伝える伝道師として、講演・執筆活動を精力的に行う。夢は世界の幸せの総量を増やすこと。日本を人権先進国、優しさ先進国、平和先進国にすること。著書多数。

- 歓迎文化行事
 「高校生フェスティバル実行委員会」による群舞
- 基調フォーラム **パネルディスカッション**
 いのちとくらし・人権を守るために、「公共」の役割を考える(仮)
- 青年企画 (自治労連主催)

会場 名古屋国際会議場「展示室211、212」 17:30 開会～19:30

2日目 10月6日(日) 分科会・講座 9:00 開場 9:30 開会～15:30

会場 分科会・講座: 名古屋国際会議場「会議室」
 現地分科会: 「増える防衛費、平和を考える」、「おもしろい! 愛知・名古屋のまちづくり」

※会場地図は中面をご覧ください

【主催】第17回地方自治研究全国集会共同実行委員会
 (構成団体) 自治体問題研究所、日本科学者会議、公害・地球環境問題懇談会、原発問題住民運動全国連絡センター、全国商工団体連合会、全国保険医団体連合会、全日本民主医療機関連合会、全国生活と健康を守る会連合会、障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会、全国保育団体連絡会、(公財)日本医療総合研究所、農民運動全国連合会、全国地域人権運動総連合、日本婦人団体連合会、日本母親大会連絡会、新日本婦人の会、全国借地借家人組合連合会、新建築家技術者集団、自由法曹団、民主教育研究所、日本自治体労働組合総連合、愛知県実行委員会 順不同
 (賛同団体) 全国労働組合総連合、中央社会保障推進協議会、日本平和委員会、消防職員ネットワーク
 [後援] 春日井市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、岩倉市、清須市、北名古屋市、豊山町、大口町、扶桑町、飛島村、設楽町、東栄町、豊根村 中日新聞社
 【事務局】日本自治体労働組合総連合 (略称 自治労連) 〒112-0012 東京都文京区大塚4-10-7 自治労連会館 TEL 03-5978-3580 FAX 03-5978-3588 E-mail / info@jichiroren.jp https://www.jichiroren.jp/

集会テーマ
守ろういのちとくらし・人権
 ー憲法と地方自治をいかし公共を取りもどそう



第1分科会

暮らし、働き続けられる住民本位の地域づくりと自治体の役割

地域ならではの宝物を活かした農林水産業や商工業の振興、中小企業基本条例を活かしたまちづくりなど、先進事例にも学びながら、安心して暮らし、働き続けられる地域づくりに向けた具体策などについて検討します。

助言者 岡田 知弘 (京都橋大学教授/京大名誉教授)

第3分科会

気候危機・原発推進に対し、持続可能な地域・自治体を考える

気候危機は人類存亡に関わる待ったなしの課題。核ゴミを作る原発にたよらず、持続可能な脱炭素社会めざす、各地域・自治体の実践に学び、今後の展望を考える。

助言者 和田 武 (和歌山大学客員教授、自然エネルギー市民の会代表、元・日本環境学会会長、元・立命館大学教授)

第5分科会

賃金と社会保障から持続可能な社会を考える

物価が上昇していますが、賃金は上がりず社会保障費は削られています。ずっと普通に暮らせる社会実現のために今後の運動について一緒に考えましょう。

助言者 木下 秀雄 (いのちのとりで裁判全国アクション共同代表、元龍谷大学教授、大阪市立大学名誉教授)

第7分科会

トリプル改定の方向性は正しいのか!?

春のトリプル改定で診療所・病院・公衆衛生は守れるのでしょうか？住民が安心して住み続けられる地域になるために何が出来るか？を考えます。

助言者 井口 克郎 (神戸大学准教授)

第9分科会

「子どもの人権」が保障される社会の実現へ

劣悪な条件下で生活している子どもたちがいます。子どもたち自身が声をあげる動きも生まれています。子どもの人権を軸に、一時保護所、学童保育、学校統廃合問題について学びあいます。

助言者 弁護士 粕田 陽子 (名古屋子どもの権利擁護委員)

第2分科会

SDGs: 持続可能な復興の道筋

わが国では国連の提唱するSDGsについて自治体などでの取り組みは十分とはいえないことから、(Sustainable Recovery Goals) 持続可能な復興の道筋について、これからの方策を語ります。

助言者 鈴木 浩 (福島大学名誉教授)

第4分科会

持続可能な社会へのインフラと住民参加

持続可能な社会の構築に向けて、まちづくりを支えるインフラ整備と住民参加のあり方について、水道やエネルギー、交通・通信を切り口に事例を交えて議論します。

助言者 傘木 宏夫 (NPO地域づくり工房代表理事)

第6分科会

公的責任で権利としての社会保障を

高齢者や障害者の日々の暮らしを豊かにすることは、憲法が保障する「権利としての社会保障」であり、公的責任で実施されるものであることを、現場の実践から明らかにします。

助言者 新井 康友 (佛教大学教授)

第8分科会

本当の「こどもまんなか社会」って？

こども家庭庁が発足し、政府は「こどもまんなか社会の実現」をコンセプトとして掲げています。本当に子どもが育つ環境は良くなるの？現状の問題点と、私たちにできることを考えます。

助言者 大宮 勇雄 (福島大学名誉教授)

第10分科会

社会教育施設のあり方と非正規労働者を考える

望ましい社会教育施設(図書館、公民館、博物館など)のあり方と、そこで専門的な正規職員が配置されず、基幹戦力化する非正規労働者の「働き方」を考える。

助言者 山本 昭和 (椋山女学園大学教授)

第11分科会

自治を育み、主権者・住民の声を生きる自治体をつくる

住民自治をどう育むか？主権者である住民と自治体職員・議員の役割は？公民館活動、女性の政治参加促進、住民投票、住民参加の農業振興など各地の実践に学び、交流します。

助言者 森 裕之 (立命館大学教授)

第13分科会

公共サービスの産業化から公共を取り戻す

施設の部分的な民営化にとどまらず、自治体の意思決定過程まで企業が介入し、自治体を丸ごと利潤追求の手段とする「公共サービスの産業化」から公共を取り戻す方策を検討・交流します。

助言者 萩原 聡央 (名古屋経済大学教授)

第15分科会

ジェンダー平等 その現状を問う

社会の制度や意識は多様性を認める方向に変化しつつあるように見えます。現実はどうでしょう。行動を変革させる社会にするためには？みんなで考えよう！

助言者 小宮 友根 (東北学院大学准教授)

現地分科会 1

増える防衛費、平和を考える

愛知の自衛隊基地(守山駐屯地、小牧基地)はどうなっているか現地を巡ります。「愛知・名古屋 戦争に関する資料館」で学び、名古屋城のフィールドワークを行います。

参加費 3,000円(バス代、昼食代含む) 別途観覧料が必要 定員 25名(先着順)
開催時間 9時00分～15時10分(集合時間8時45分)

集合場所 金山総合駅北口「イオン金山店」前

第12分科会

「マイナ保険証」「自治体DX」住民の暮らし、職員の働き方はどう変わる？

保険証は12月廃止され、マイナ保険証に統一されます。自治体業務システムは、2026年度から国の「標準準拠システム」への移行が義務付けられます。上からのDXを住民視点で考えます。

助言者 本多 滝夫 (龍谷大学教授)

第14分科会

日本の軍事国家化と地方自治の対抗

政府が進める「軍事国家」化の現状を明らかにし、それに対する地方自治の課題・展望を、地方自治体・住民・労働組合の平和を守るたたかひの実践から考える。

助言者 白藤 博行 (専修大学名誉教授)

講座

ジチケンって何するの？ 地域・職場を変える

住民の最前線で働きながら見える今の「公務のあり方」。自治研活動で地域や職場を見つめなおせば何かが変わる!? 財政分析など各地の実践を通して学びます。

講師 榊原 秀訓 (南山大学教授)、竹尾 久男 (山口県地方自治研究所事務局長)

現地分科会 2

おもしろい！愛知・名古屋のまちづくり

徳川美術館や東海道五十三次41番目「宮宿」の趣を残す七里の渡しなど、フィールドワークを含めて、歴史や文化にふれながら、愛知・名古屋のまちづくりを考えます。

参加費 3,000円(バス代、昼食代含む) 別途観覧料が必要 定員 25名(先着順)
開催時間 9時15分～15時00分(集合時間9時00分)

集合場所 金山総合駅北口「イオン金山店」前

会場案内 名古屋国際会議場

〒456-0036 名古屋市熱田区熱田西町1番1号

各主要駅から会場最寄駅までの乗換案内

- 金山 経由で [名古屋駅] から名鉄線・JR東海道本線・JR中央線「金山駅」で乗り換え、地下鉄名城線「西高蔵駅」(2番出口)もしくは地下鉄名港線「日比野駅」(1番出口)下車、駅から徒歩5分。
- 栄 経由で [名古屋駅] から地下鉄東山線「栄駅」で乗り換え、地下鉄名城線「西高蔵駅」(2番出口)もしくは地下鉄名港線「日比野駅」(1番出口)下車、駅から徒歩5分。
- 久屋大通 経由で [名古屋駅] から地下鉄桜通線「久屋大通駅」で乗り換え、地下鉄名城線「西高蔵駅」(2番出口)もしくは地下鉄名港線「日比野駅」(1番出口)下車、駅から徒歩5分。